



# 父の遺言

—— 義烈空挺隊の真実 ——

- 第1章 父の遺言～久野正信中佐の遺書～
- 第2章 義烈空挺隊とは
- 第3章 アメリカ側の記録
- 第4章 関係者の証言
- 第5章 隊員たちが書き残したもの



## 久野正信中佐とその家族

久野正信中佐は、幼い子どもたちへあてた遺書を残しました。当時の小学校では、読み書きは片仮名から学んでいましたので、早く文字が読めるようにと、遺書は片仮名で書かれています。(第1章より)



## 強行着陸した爆撃機

義烈空挺隊の爆撃機が熊本の飛行場から出撃。沖縄にたどりついた機が強行着陸を行い、飛行機や飛行場施設の破壊を行いました。その様子がアメリカ軍によって記録されています。(第3章より)



## 出撃前の隊員

隊の編成から特攻の実施まで6か月と期間が長く、隊員同士の団結は強かったと言われます。それを示すように、長い用紙に大勢の隊員で書いた遺筆が残されています。(第5章より)

## 【講座のご案内】

場所：知覧特攻平和会館 講話室

受講は無料ですが、入館料が必要です。

### 企画展ギャラリートーク

定員：先着20名(申込不用)

7/25(土)

11:00～11:30  
14:00～14:30

## 戦後75周年記念 特攻に関する講座

定員：20名(予約制)※TEL又はFAXでお申し込み下さい。

- 8/2(日) 第1回 10:30～12:00 「飛行兵の制度から見つめる特攻」
- 第2回 13:30～15:00 「第20振武隊 穴澤 利夫大尉」
- 8/9(日) 第3回 10:30～12:00 「知覧飛行場の歴史から見つめる特攻」
- 第4回 13:30～15:00 「第102振武隊 猪瀬 弘之少尉」

※新型コロナウイルス感染予防対策等の諸事情により、休館や講座を中止する場合がありますのでご了承ください。